



地域の皆さま、こんにちは。

日ごろから本校の教育活動へのご理解とご協力をいただきまして誠に有難うございます。

この 4 月より小田原養護学校から本校に着任いたしました校長の澤田裕でございます。どうぞよろしくお願いたします。

私事ですが、神奈川県教員として採用されて以来、高等学校での経歴が長く、多くの校種を経験してまいりました。湘南養護学校赴任前を遡ると小田原養護学校、普通科全日制高校、商業高校などで勤務し、教員生活のスタートは工業高校(定時制)でした。本校と同じ地域の平塚農業高校にも平成 16(2004)年より 6 年間勤務していました。多くの生徒や保護者、地域の方々との出会いはとても貴重な経験となり、大切な思い出となっています。

本校は昭和 55(1980)年 1 月に県立平塚盲学校で開校準備がはじまりました。当時は現地開校ではなく海に近い平塚市立花水小学校内にプレハブの仮校舎を建て、同年 4 月 1 日開校、4 月 8 日に第 1 回小学部・中学部入学式、5 月 1 日に開校式が行われ、この日が開校記念日と定められました。昭和 56(1981)年に高等部(本科)が設置され、同年 8 月本校舎第 1 期工事竣工に伴い平塚市中原上宿 1382 番地の 1(現住所・平塚市御殿 4 丁目 14 番 1 号)に移転し、第 2 期工事竣工を経て昭和 57(1982)年 6 月、校舎落成記念式典が挙行されました。

開校当初、小学部 25 名、中学部 10 名、計 35 名の児童生徒と 21 名の教職員ではじまった学校も、現在は 140 名の児童生徒と 120 名を超える教職員が笑顔で集い、おかげさまで皆さまのお力添えにより 5 月 1 日に開校 40 周年を迎えることができました。

湘南養護学校は、鈴川と渋田川の間であり、様々な鳥が集い季節の花々が彩を添えてくれる自然豊かな場所で、児童生徒がのびのびと生活しています。『たくましく生きる力を育てる』等を教育目標として、児童生徒の自立と社会参加に向け、コミュニケーションツールの活用を積極的に推進した指導に取り組み、小学部から高等部まで一貫した教育を行っています。今後も『地域に開かれた明るく楽しい活力ある学校』と『みんなが少しでもよい変化と成果が実感できる学校』を目指し、教育活動に取り組んでまいります。

今年度は新型コロナウイルスの影響でいつもとは違う今までに経験したことのない日々を過ごすこととなりました。今後も不確定で見通しの立ちづらい状況が続くものと予想されます。子どもたちの元気な笑顔と穏やかな日常を取り戻すため、一日も早い事態の収束を願うとともに、安全安心を最優先として子どもたちの学びと学校生活を守り、支えていきたいと考えています。

児童生徒と教職員がともに学び明るく楽しく学校生活を過ごせるよう、教職員一同力を合わせてまいりますので、引き続きこれまでと変わらぬご支援を賜りますよう、今後ともよろしくお願いたします。

湘南養護学校の特色ある学習について紹介します

本校には、音声での発信が難しい、視覚的に提示されると理解しやすい、といった特性のある児童生徒が多く在籍しています。そのため、絵・文字・写真、身振りサイン・シンボルマークなど、さまざまな視覚情報を用いたコミュニケーション指導に力を入れています。また、獲得したコミュニケーション手段を継続して使えるよう、小学部・中学部・高等部が一貫性を持った指導を行い、必要な力を身につけて卒業することを目指しています。

小中高の段階的な積み重ねのエピソードをご紹介します。

小

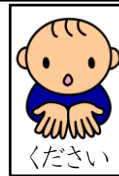
重点目標：◎自立した生活に向けて基礎的な能力と態度を育てる

◆ 「ください」カードを渡すことで要求を伝える練習

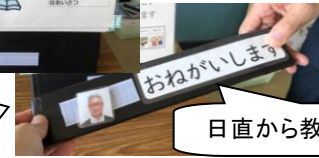
☞ ロールプレイ劇によって、カードをどのような場面で利用し、何を得られるのかを理解 → ゲーム場面で練習 → 日常場面で実践！

◆ 主体的・対話的な「朝の会」や「帰りの会」の進行

☞ めくりプログラムを使った朝の会で、児童が教員やクラスメイトと対話をしながら進行します。進行の中で、「今日のできごと。〇〇さん(先生)、お願いします」といったこともカード等で伝え、それぞれの役割をもって参加することを大切にしています。
(写真は中学部のめくりプログラム)



全体の流れの中で
今はどこかがわかる



日直から教員や児童へ

中

重点目標：◎一人ひとりの生徒に適した伝達手段の獲得と視覚支援の活用に取り組む
◎「主体的」「対話的」の視点に立った授業づくりに取り組む

◆ カードがあるから、より伝えられる

☞ 給食場で「A先生、〇〇をください」と、カード+音声でも伝える練習。
→ 家庭でも「お父さん、〇〇ください」と言葉で伝えるようになりました。

◆ 「帰りの会」のがんばり発表を、文で伝える

☞ 「今日は給食がおいしかったです」など、その日がんばったことやたのしかったことなどを、単語カードを選んで組み合わせ、文を作って発表します。毎日の継続はコミュニケーションの練習になり、自信となります。生徒によって、文字や絵、サイン、自筆、音声など、方法はさまざまです。



左の予定表のカードを使って、
文を作っています(右)

高

重点目標：◎生徒の発達状況に即したスキルの獲得に重点をおいた指導を推進する
◎自立と社会参加に向け、基本的生活習慣を確立し、社会人として求められる力や態度を育てる

◆ 自分に合った方法での自己紹介 ～ツールはさまざま～

☞ 集会で自己紹介をする場面。本人が入力した文字を機械が読みあげる「トーキングエイド」や、本人が伝えたいことを代弁者によって録音しておき、発表時に本人がボタンを押すことで音声が発信される「ビックマック」など、文字や写真、音声以外にも、さまざまなコミュニケーションツールがあります。

◆ 「こう思う」、「それはなぜか」を説明する力をつける

☞ 結果から原因を考えるとということやそれを合理的に説明できるようになると、過去の出来事の意味を理解したり、結果を予測してふるまったりすることができるようになります。

※本校で使っているシンボルマークや身振りサインは、学校HPでも公開していますのでそちらもご覧ください。



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、本校では3月2日～5月29日まで、臨時休業としておりました。児童生徒たちにとっては卒業、進級という大事な区切りの時期でもあり、教職員も異動があるなかで、新年度がスタートしました。

休校中や分散登校中の学校のない日をどのように過ごすか、家庭と学校とで連絡を取り合い、家庭で無理なくできそうな取り組みを相談したり、課題を届けたりすることを各学部で行いました。また、学校ホームページに動画を限定公開という形でアップロードし、各家庭でのみ視聴できるような取り組みもしました。放課後等デイサービスなどの福祉サービスを利用して家庭以外の場で過ごすことができた方も多かったようですが、長い休校期間、各ご家庭での工夫やご苦労ははかりしれないものだと感じています。

小中高等部それぞれの取り組みや、ご本人やご家庭から聞こえてきた声の一部をご紹介します。

【小学部】

〈学校から〉新担任の紹介、授業で行っていた読み聞かせ、運動、歌、家庭にあるものでできそうな工作あそびや課題などをDVDに収録して郵送しました。

〈家庭から〉家庭でDVDを見て一緒に踊っているという声や、まだ会えていない先生の顔と名前を覚えた、といった声が聞けました。また一緒に料理をしたり、家庭の中でリラックスできる場所を決めたりなど、工夫して過ごしている様子も聞かれました。食べすぎになりがち、といった声も聞かれましたが、学校が始まったらいっぱい運動しましょう！と励ましていました。

【中学部】

〈学校から〉新学期から行う朝の体操の動画をホームページに限定公開していました。各ご家庭で取り組んでいただけたようで、6月からスムーズにスタートが切れました。また登校日とお休みの日が一目でわかるカレンダーを配付し、見通しがもてるようにしました。また学習プリントだけでなく、簡単な調理の手順表なども送り、それを参考に楽しく調理をした家庭もあったようでした。

〈家庭から〉大変だったことは、外に出かけられない、生活リズムが崩れてしまうといった悩みが多く聞かれました。お手伝いを一つ決めて、できたらカレンダーにシールを貼るといったことも取り組んでいただきました。

【高等部】

ある学年の取り組みです。休み中、何時に起きて何をしていたか、どのような気持ちで過ごしていたか、学校が始まったら何をしたいか、といったことを記入するプリントが休校中の課題として出されていました。生徒たちが不便だなと思ったことの中には「遊べない」、「出かけられない」、「自分のペースで過ごせない」などのコメントがありました。また学校が始まったらやりたいこととしては部活や運動、先生や友だちと遊ぶなど、学校に思いをはせている言葉も多くありました。一方、休み中の過ごし方やイチオシ番組名などもさまざま書かれていて、大変だったけれど工夫して過ごしていた様子もよくわかる内容でした。右の写真は、一人ひとりのコメントが貼られていて、みんなそれぞれがんばってのりきったのだな、ということが「見える化」されています。しばらく校内の廊下に掲示していました。





お知らせ



湘南養護学校

40周年記念作品展

今年度も学校単独の作品展を開催します。
会場は昨年度と同じ、平塚駅前のアーケード内にある『平塚市民プラザ』で開催することになりました。児童生徒が図工や美術、家庭科、作業班で作った作品を展示する予定です。また、今年は『学校創立40周年』を記念して力を合わせて作っていますのでそちらも楽しみにしてください。お知り合いの方をお誘いいただき、ぜひ会場にお越しください。

会期：令和3年1月30日（土）10:00～17:00
令和3年1月31日（日）10:00～15:00
会場：平塚市民プラザ（平塚駅前アーケード内）

公開研修会

日時：令和2年12月25日（金）13:30～14:30
「アセスメントを活用した授業づくりの実践」

湘南養護学校 相談支援係

湘南養護学校では、目の前にいる子どもについて理解するために、様々な心理検査や尺度による客観的な指標を用いることがあります。そこから得られた結果を、どのように日頃の学習や生活場面で活かしているのか、それぞれの学部での実践を紹介します。自分なりの見立てや発達検査の結果はあるけれど、それをどう具体的な手立てにつなげたらよいかわからない、という方へのヒントにもなるかもしれません。皆様のご参加をお待ちしています。

お問合せ TEL 0463 (34) 7244
FAX 0463 (34) 8707
支援連携部 緒方・伊東

❀ 学校紹介 ❀

本校における取り組みや各学部の行事などの様子は、学校ホームページからご覧いただけます。日課や、教科学習の様子、それぞれの学部のねらいなど、湘南養護学校での児童・生徒の様子を、より身近に感じていただけることと思います。

〒254-0061

神奈川県平塚市御殿4丁目14番1号 TEL: 0463-34-7244 FAX: 0463-34-8707

E-MAIL: shonan-sh@pen-kanagawa.ed.jp
URL: <https://www.pen-kanagawa.ed.jp/shonan-sh/>

湘南養護学校 交通アクセス

- 平塚駅より神奈中バス 7番ホーム乗り場
「伊勢原駅南口行」
大縄橋下車徒歩10分（89, 90, 91, 94系統）
新大縄橋下車徒歩12分（88, 92, 93系統）
- 伊勢原駅より神奈中バス「平塚駅行」
大縄橋下車10分（89, 90, 91, 94系統）
- 秦野駅より神奈中バス「平塚駅行」
長瀬下車10分（71, 74系統）
- 二宮駅南口より神奈中バス「平塚駅行」
南原土手下車15分（平32系統）

